

国土交通大臣 石井啓一殿

中央新幹線南アルプストンネル工事の起工式と工事中止を求める要請書

私たちは、品川～名古屋で建設が予定されている中央新幹線（以下、リニア新幹線）の想定沿線住民を中心にリニア新幹線計画の見直しを求めて活動しているリニア新幹線沿線住民ネットワークです。

報道によると、事業主体の東海旅客鉄道株式会社（以下、JR東海）は、今月18日に、山梨県早川町でリニア新幹線南アルプストンネル工事の起工式を行うと伝えられています。

リニア新幹線はJR東海の全額負担で建設されますが、整備新幹線に格上げされ、全国新幹線鉄道整備法が適用されることで、「国家的プロジェクト」として、公共事業と同等の手厚い国の支援が約束されています。しかし一方で、「民間事業」として閣議決定もなく、国交審議会など国会でも、事業の可否を含めた審議がほとんど行われませんでした。

また、環境影響評価の過程では、環境保全措置の内容やその評価を疑問とする沿線自治体の首長意見や住民意見も聞き入れられませんでした。そして、昨年10月17日に太田昭宏国交大臣（当時）が、「中央新幹線工事実施計画（その1）」を承認し、JR東海に対し事実上の着工認可を下しました。これに対して、私たちは昨年12月16日に、行政不服審査法に基づく上記承認処分の取消しを求める異議申立てを行いました。しかしながら、審査庁である貴省はこの1年間、私たちの切実な申立てを放置したままです。速やかに審査を進め早急に裁決を行うよう求めます。

JR東海が提出した環境影響評価書に対し、環境大臣は地下水や生態系など多岐の項目にわたり環境保全措置に万全を期すこと、沿線住民や関係自治体の理解をはかることや事業実施について住民の関与を求めています。しかし、JR東海は沿線住民や関係自治体の理解を深める努力も、理解を得るための説明責任も果たしていません。このような状況の中で工事を見切り発車することは許されません。国交大臣が、JR東海に対し起工式の取りやめと、自然環境を壊す南アルプストンネル工事の中止を指示するよう強く要請します。

今年6月30日、東海道新幹線で焼身自殺があり、2人が死亡し26人が重軽傷を負いました。また、11月15日にはフランス高速鉄道TGV実験線で脱線事故があり、10人が死亡、32人が負傷しました。こうした高速鉄道の重大事故に鑑み、私たちはリニア新幹線山梨実験線に一般客を体験乗車することの危険を指摘せざるを得ません。貴省がJR東海に対し、山梨実験線への体験乗車を直ちに中止させるよう併せて要請します。

2015年12月14日

リニア新幹線沿線住民ネットワーク

共同代表 天野捷一、川村晃生、片桐晴夫、原 重雄